

RoboCupRescueSimulation 秋キャンプの準備及びテスト

1 当日必要なもの

- 以下の準備が完了した PC(RCRS の開発をすでに行なっている人は恐らく問題ないと思いますが確認をお願いします。)
- USB メモリ
- LAN ケーブル

2 PC に事前に必要な準備

- 任意のバージョンの ubuntu(RCRS ではメモリ資源を多く使用するため 64bit を推奨します)
→ 仮想環境での起動でも一応可能です。
- Oracle Java SE Development Kit 7
- RCRS のサーバー
- ant コマンド
- 任意のバージョンの eclipse(統合開発環境)

2.1 ubuntu の日本語化

- 32bit-ubuntuOS
<http://www.ubuntulinux.jp/japanese> で日本語版の ubuntu の入手が可能です。
- 64bit-ubuntuOS
64bit 版は日本語化は前述の URL に記載されている手順で実現可能です。日本語の入力をするには `ibus-setup` を端末で入力し、「IBus の設定」を表示します。「IBus の設定」内のインプットメソッドタブを選択し、インプットメソッドの選択から日本語の Anthy を選択して追加をします。この手順で日本語入力ができるようになります。

2.2 oracle jdk 7.0 のインストール

インストール手順

- `$sudo add-apt-repository ppa:webupd8team/java`
- `$sudo apt-get update`
- `$sudo apt-get install oracle-java7-installer`

これで oracle jdk 7.0 の追加が可能です。念のため `$java -version` で入っているか確認してください。

2.3 ant コマンドのインストール

- `$sudo apt-get install ant`

2.4 RCRS サーバーの入手及び実行テスト

- 入手
`http://sourceforge.net/projects/roborescue/files/2011/rescue-1.0a-2011-src.tgz/download`
現行のサーバーは上記の URL からダウンロード可能です。
- 実行テスト
ダウンロードした後に任意のディレクトリに解凍し rescue-1.0a-2011 ディレクトリ直下で`$ant`を実行してください。端末上で rescue-1.0a-2011/boot に移動し`./start.sh`を実行します。実行するとウィンドウが出てくるのでそのまま OK のボタンをクリックしてください。多数のウィンドウが出てきた後、Kernel という名称のウィンドウが出てきたことを確認したら、ターミナルの新規ウィンドウで同じく rescue-1.0a-2011/boot にいることを確認し、`./sampleagent.sh`を実行してください。Kernel の画面の右上にエージェントが接続されたことを確認出来たら Kernel の Run をクリックしてください。Viewer を見てエージェントが動いていればテスト成功です！